

患者さんに喜ばれる再製作のないデンチャー作りのための本
チェア・サイドとラボ・サイド間の本当のコミュニケーションとは？

チェア・サイド & ラボ・サイド コミュニケーションで成功する デンチャー・トリートメント

細井紀雄・阿部 實・水野行博／編

●多くの工程が積み重ねられるデンチャー・トリートメントにおいては、そのつどチェア・サイドとラボ・サイドのコミュニケーションが必要となります。そして、歯科技工士の製作意欲が沸き上がるようなコミュニケーションの確立こそがデンチャー・トリートメントを成功に導きます。

●歯科医師 50 余名、歯科技工士 40 余名のアンケートを基に、デンチャー・トリートメントの各ステップにおいて、歯科医師・歯科技工士が必ずクリアしなければならないこと、どのような点で十分なコミュニケーションが必要かを、歯科医師と歯科技工士がペアになり、診療、技工のプロセスに沿ってコミュニケーションの取り方を具体的に解説。

●クラスプ・デンチャー、レジン床義歯の場合のコミュニケーションを基軸に、義歯の種類と設計、欠損の部位の違いによるコミュニケーションについても解説。また、リラインやリペアーにおいて必要なコミュニケーションについても記述。

●患者さんの立場に立ち、患者さんの要望に応える満足度の高いデンチャー・トリートメントを行うために「患者中心医療」(POS Patient Oriented System) のコンセプトに立脚して執筆。

C O N T E N T S

1章 インフォームド・コンセントをふまえた治療計画の立案

1. 患者の主訴、治療への希望をどうコミュニケーションするか
2. コミュニケーションの方法
—不十分な現状をどう改善するか

2章 診療と技工のステップごとのコミュニケーション —クラスプ・デンチャー、レジン床義歯の場合—

1. 概形印象採得・診断用模型の製作
2. 治療計画について患者とインフォームド・コンセントをとる
3. 基本設計の確認と作業工程の検討
4. 個人トレーの製作
5. 精密印象・作業用模型の製作
6. 咬合床の製作・咬合採得
7. 咬合器の模型付着・フェイス・ボウの記録
8. ゴシック・アーチ描記装置の製作・描記
9. 人工歯の選択・人工歯排列
10. 蠟義歯の製作・試適
11. 設計・義歯の完成・装着

3章 義歯の種類と設計によるコミュニケーション

1. 欠損部位の違いによる義歯の対応 (レジン床、金属床)
2. 暫間義歯・治療用義歯
3. すれ違い咬合の義歯
4. オーバーデンチャー
5. インプラント・デンチャー
6. 金属床コンプリート・デンチャー

4章 リライン&リペアーにおけるコミュニケーション

1. 院内ラボにおける即日リライン&リペアー
2. 義歯を数日預かって行う間接リライン&リペアー

5章 人工歯と義歯床の追加修理におけるコミュニケーション

A4判／188頁
カラー & 2色
定価8,400円
(本体8,000円+税5%)
ISBN978-4-263-44260-9

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>